

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	車椅子のまま食事をしている利用者に対してテーブルと椅子(車椅子)の高さが利用者にとって適切な高さになっているか検討する必要がある。	食堂で過ごされる日中は、椅子に座る様にする。移動時に車椅子を使用していく。	食事の前やトイレに行った後、テーブルに付く際に車椅子から椅子への移動をする。	1ヶ月
2	40	入浴予定表を組み、順番で毎日の入浴を実施している為、利用者個人が入浴したい時に入浴していないのではないか。	利用者が入浴したい時に入浴介助が実施できる様にする。	毎日、午前中に一人一人に声掛けして、入浴希望を伺う。	1ヶ月
3	45	利用者が見やすい所に献立が掲示されていない。	利用者がメニューを見たい時にすぐに確認できる位置に献立表を掲示する。	ホール横の壁にボードを付けて毎日の献立を記入する。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

2019年 3月15日_10時01分 社会福祉法人 輔会 NO.9935 P.2